



### 3.8

全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) を達成する。

辰巳 浩隆

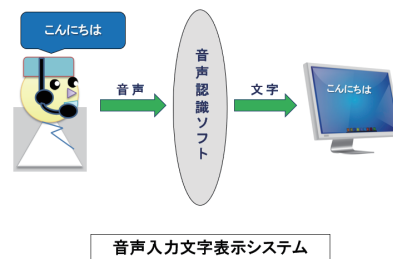
附属病院

口腔診断・総合診療科

## 音声認識システムの活用で医師と患者間のコミュニケーションギャップを低減する

高齢難聴患者との医療面接において、音声認識システムを用いて字幕表示させ、円滑なコミュニケーションを図る方法を確立させる研究を行っています。

現在の高齢社会において急増している高齢難聴者との医療面接の際に、音声認識システムを活用したコミュニケーション支援を行うことにより、医師と患者間のコミュニケーションギャップを少なくし、確実に迅速かつ円滑なコミュニケーションを図ります。



### message

市民としてディスポのプラスチック製品などの使用削減、ゴミ分別を的確に行うこと、および節電や節水などができると考えています。また、大阪歯科大学教職員として、診療では上記システムの活用により患者とのコミュニケーションギャップを低減させ、質の高い医療を奉仕すること、および施設の節電や節水などによりエネルギーを節約することや医療廃棄物を削減することを考えています。